まだ、ここにない、出会い。 RECRUIT

2019年2月13日

株式会社リクルートキャリア

職場を盛り上げる取り組みに光をあてる 「第5回 GOOD ACTIONアワード」受賞企業発表

★全社員の目標・アクション・給与をオープンにして、個人の成長を促す企業

★全員が子育て中の時短社員の企業　など

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区　代表取締役社長：小林 大三）が運営する社会人のための転職情報サイト 「リクナビNEXT」（http://next.rikunabi.com/）が主催する「GOOD ACTION」は、2月13日（水）、第5回「GOOD ACTIONアワード」を受賞した6企業を発表しました。

「GOOD ACTION」とは、働き方の多様化が求められる現代において、一人ひとりがイキイキと働くための職場の取り組みに光をあてるプロジェクト。第5回となる今回は「あなたが主人公」という想いも込め、「現場の声から生まれた取り組み」「ユニークさやチャレンジ性がある取り組み」「担当者が想いを持って始めた取り組み」など、「自分たちもやってみよう！」とヒントにしていただける事例を紹介していきます。また、今回から、「GOOD ACTION」が大切にする「職場を盛り上げること」を、組織の中で推進するために懸命に取り組んだ案件を表彰して応援する「Cheer Up賞」を新設しました。

「第5回 GOOD ACTIONアワード」を受賞した6企業は、以下の通りです。

受賞カテゴリー	受賞内容	企業・団体名
GOOD ACTION	全員が子育て中の時短社員！ 業務改善とジョブシェアでパフォーマンスと定着率UP	株式会社ルバート
GOOD ACTION	役職・階層・部署・情報格差ゼロの「バリフラットモデル」	株式会社ISAO
GOOD ACTION	約3500人の家事代行キャストからの日報すべてに、 33人の本部社員が感謝と労いの返信プロジェクト	株式会社CaSy
GOOD ACTION	従業員の生の意見を聞く「退職者ヒアリング」による 独自の制度改革と働き方改革	株式会社はるやま ホールディングス
GOOD ACTION	新規事業開発もしくは自己開発を目的に、海外渡航できる制度 Playful Planet Quest（通称：PPQ）	合同会社こっから
Cheer Up	「離職率 100%」を目指し、 新しいスキルを求めるエンジニアのステップアップを応援	株式会社 MapleSystems

「第5回 GOOD ACTIONアワード」 について

GOOD ACTION リクナビNEXT

■主 催：　株式会社リクルートキャリア　リクナビNEXT

■審査委員：　学習院大学経済学部経営学科 教授　　守島 基博　氏
SAPジャパン株式会社 バイスプレジデント / 横浜市政策局男女共同参画推進担当参与 / NPO法人GEWELアドバイザリーボード チェア　　アキレス 美知子　氏
慶應義塾大学 特任准教授 / 株式会社NewYouth代表取締役　　若新 雄純　氏
株式会社リクルートキャリア リクナビNEXT編集長　藤井 薫

■応募期間：　2018年8月1日～2018年9月26日

■審査過程：　日本で企業活動を行う企業、団体からの全応募取り組みの中から、書類審査、訪問審査、最終審査を経て選出

【本件に関するお問い合わせ先】
「GOOD ACTIONアワード」PR事務局（株式会社パブリックグッド 内）　梅澤・五十嵐
TEL: 03-6416-3268　/　FAX：03-6416-3269　/　メール：pr@publicgood.co.jp

「第5回 GOOD ACTIONアワード」 受賞企業

各取り組みの概要は、こちらで詳しく紹介しております ▶ https://next.rikunabi.com/goodaction/

GOOD ACTION 1

全員が子育て中の時短社員！ 業務改善とジョブシェアでパフォーマンスと定着率UP

受賞のポイント

Point 1 トップの実体験をもとに、試行錯誤を繰り返して進化し続ける取り組み
Point 2 徹底した情報共有で、互いに助け合う意識を高めている
Point 3 働きやすさだけでなく、過去の経験を生かす「やりがい」も得られる

ルバートのメンバーは、全員が子育て中の女性社員。「これまでのキャリアを生かして活躍したい」と考え集まっている。そんなメンバーが時短勤務でも高いパフォーマンスを発揮できるよう、試行錯誤を経て業務改善とジョブシェアを実行していった。

属人化しやすい業務をエクセルで一覧化し、できるだけ無駄なタスクを廃止し、可視化・透明化を進めている。情報は全て同じサーバー内の資料で管理し、社内では「チャットワーク」を活用して報連相。自由な働き方を実現すべくスキル向上とノウハウ共有もマニュアル化し、「残業なしで高い生産性を発揮する」「自分が急に休んでも回る体制づくりをする」という意識を共有している。

子育てをしながらだと時間をやりくりしづらい夜や早朝の業務はアウトソースするなど、社員に寄り添う形で改善策を実行中。

株式会社ルバート
（千葉・船橋市／マーケティング・PR／10名）

GOOD ACTION 2

役職・階層・部署・情報格差ゼロの「バリフラットモデル」

受賞のポイント

Point 1 100名を超える組織で、階層・役職の一切ない組織を実現
Point 2 部署、役職、階層をなくすことで、誰もが生産性向上に向けて挑戦できる組織に
Point 3 ビジョンを再定義し、情報のオープン化を進めて「バリフラットモデル」へ

役職・階層・部署・情報格差が一切ない「バリフラットモデル」を運用。かつて62ヶ月連続経常赤字という業績悪化に見舞われた同社は、2011年から代表取締役・中村圭志さんのもとで組織改革に取り組んだ。事業に関する数値や給与・等級といった人事情報など、社内情報を徹底的にオープン化。

社員間の情報格差をなくし、誰もが現状を把握して会社へ提案できる体制を作って、中間管理職や階層を必要としない組織を実現させた。個人の目標や活動は自社開発した社内コミュニケーションサービス「Goalous(ゴーラス)」を利用して共有。

また、それぞれの社員がキャリアの相談相手として「コーチ」を指名。このコーチを含む最大7名を自身の評価役として選び、人事考課を決定する。20代から60代まで幅広い年代の社員が「いかにして顧客へ価値提供するか」を考え、日々行動している。

株式会社ISAO
（東京・台東区／ITサービスの企画・開発／107名）

「第5回 GOOD ACTIONアワード」 受賞企業

各取り組みの概要は、こちらで詳しく紹介しております ▶ https://next.rikunabi.com/goodaction/

GOOD ACTION 3

約3500人の家事代行キャストからの日報すべてに、33人の本部社員が感謝と労いの返信プロジェクト

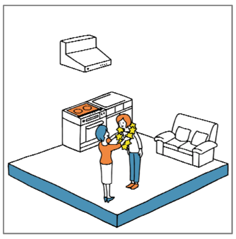
受賞のポイント

Point 1　少人数の本部社員が約3500人のスタッフへ地道に返信を続けている
Point 2　取り組みにゲーム要素を持たせて全社的な機運を盛り上げた
Point 3　定着率向上だけでなく、事業そのものの進化にもつながっている

家事代行業務の現場で働く約3500人のキャスト（スタッフ）から日々寄せられる日報に、33人の本部社員が分担して感謝と労いの返信を続けている。キャストと本部社員の間に血の通ったコミュニケーションが生まれ、キャストが仕事のやりがいをより感じられるようになり、定着率向上につながった。

また、本部のエンジニアやマーケティング担当者がキャストの声に触れることで、ウェブシステムの改修や広告戦略の見直しなどにも効果を発揮している。

このプロジェクトでは、社内システム上で閲覧できるキャストからの日報に対して、経営陣を含む本部社員が業務時間中に毎日3件以上返信。記入内容に応じて専門部署からのサポートにつなげたり、本部のデザイナーが作成した返信用の「CaSyスタンプ」を活用してより温かみを持たせたりといった工夫も行われている。



株式会社CaSy
（東京・品川区／家事代行／
本部社員33名、家事代行スタッフ約3500名）

GOOD ACTION 4

従業員の生の意見を聞く「退職者ヒアリング」による独自の制度改革と働き方改革

受賞のポイント

Point 1　役員自らが直接電話をして、「本音の不満や不安」をヒアリング
Point 2　退職理由上位の「転職・給与・転勤」に対応した施策を実行
Point 3　新たな制度のもとでキャリアアップを志向する社員が増えている

働き方改革に向けて、会社を辞める社員の生の意見を聞く「退職者ヒアリング」を実施。専用フォームに沿って上司がヒアリングするほか、役員が直接店舗の社員に電話をして事情を聞くこともある。

ヒアリングの結果見えてきた退職理由の上位は「転職」「給与の不満」「転勤の不安」の3つ。これらに対する打ち手として、全社・全従業員を対象とした「社内公募制度」、管理職にならなくても販売専門職としてキャリアアップを目指せる「スペシャリストコース」、社員が自分の意志で働く地域を選べる「総合職：地方限定コース」の各施策を実行している。

退職者以外からも社員のニーズをヒアリングし、個別の声をもとに役員会議へ提案して早いものでは翌月には施策になっているものも。結果、2016年度に10.2%だった離職率は2017年度に8.8%へ減少した。

株式会社はるやまホールディングス
（岡山・岡山市／スーツ及びその関連用品の販売／
グループ連結3000名）

「第5回 GOOD ACTIONアワード」 受賞企業

各取り組みの概要は、こちらで詳しく紹介しております ▶ https://next.rikunabi.com/goodaction/

GOOD ACTION 5

新規事業開発もしくは自己開発を目的に、海外渡航できる制度 Playful Planet Quest（通称：PPQ）

受賞のポイント

Point 1 社員数6人という規模ながら大胆に投資し、制度を実現した
Point 2 短期的なリターンは求めず、行き先も目的もそれぞれが自由に設定
Point 3 国境を超えた新たな人脈を作り、海外事業につながった

ビジネスのアイデアやインスピレーションを得ること、また体験から学んで自己開発につなげることを目的に、「Playful Planet Quest」（通称：PPQ）という会社予算での海外渡航制度を実施している。年間予算1人あたり15万円の範囲内で、それぞれのテーマで自由に国を決められる。予算限度を超えても自己負担と合算しての渡航は認められ、一方で予算内であれば回数の制限はない。

異質なものに触れることで湧いてくる新たな発想やエネルギーを大切にし、直接的な受注や定量での結果といった短期の投資リターンには固執しないのが特徴。PPQで訪れた各国の体験をシェアし、参加者と一緒にグローバルな視点で意見交換する『こっからメンバーの世界旅行記』というイベントも開催している。

この取り組みで訪れた国の企業と関係性が構築され、その様子をブログやSNSで発信し続けたことがきっかけとなり、現在では海外案件も手がけるようになっている。

合同会社こっから
（福岡・糸島市／コンサルティング／6名）

Cheer Up

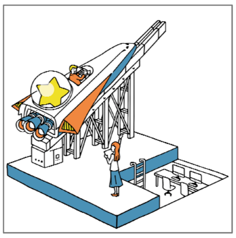
「離職率 100%」を目指し、新しいスキルを求めるエンジニアのステップアップを応援

受賞のポイント

Point 1 個人の成長を本気で考える「人と会社の新たな関係性」を示した
Point 2 在籍中はもちろん、退職後の成長も考えて人材育成に取り組んでいる
Point 3 「辞める前提」があることで、結果的に社員の定着につながっている

「離職率100%」を掲げ、新しいスキルを求めるエンジニアのステップアップを応援している。自社の採用力強化のため、2018年1月に採用広報として離職率100%という目標を掲げたのが始まり。これには、社員がスキルを磨ける環境を最優先し、会社として個人の成長を応援するということ、そしてスキルアップの先に、会社を巣立っていくことをも応援したいという思いを込めている。

エンジニアだからこそ、会社に頼り切るのではなく、どこでも通用する武器を身につけておいてほしい。そんな考えから案件そのものの契約金を開示し、どれくらいの給与が欲しいか、どんなスキルを身につけたいかを考えてもらっている。エンジニア同士の出会いの場や、勉強会のための場を提供する活動も進め、メイプルシステムズへの応募数は増え続けている。



株式会社MapleSystems
（東京・中央区／IT／正社員95名）